

政策シート

(政策名) 若者の自立を促す環境づくりの推進

(予算費目名) 次世代育成費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	242	95				
決算	181					
人件費(A)	5,280	4,900				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	5,461	4,995				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市民アンケート(子育て中の市民が「子育てがしやすくなっている」と感じる割合(%))	%	目標	50	50	51	52	53	54
		実績	49.8					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 指標については目標をわずかに下回ったものの、前年度の47.3%から2.5ポイント上昇し49.8%となった。令和元年10月から、医療費助成の高校生までの拡大や幼児教育・保育の無償化が実施されたことで、子育てに関する負担軽減への期待感から上昇したと推察される。
- 社会状況や需要の変化を適切に捉え、効果的・効率的に子育て環境を整えていく必要がある。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	子ども・若者支援プラン推進事業	○	○			4,995	95	0.7			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						4,995	95	0.7			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 子ども・若者支援プラン推進事業

◇事業目的・事業対象

平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度をはじめ、ひとり親家庭等の自立促進や若者支援などの施策・事業の円滑な推進を図る。

◇事業の概要

・令和2年4月施行の第2期浜松市子ども・若者支援プランの進捗管理や見直しを行う。
【推進体制】
 浜松市子ども・若者支援推進会議、浜松市社会福祉審議会児童福祉専門分科会において第2期子ども・若者支援プランの推進について協議するとともに、総合的な施策展開の検討・調整を行う。
【点検・評価】
 年度毎の事業の実施状況や費用の使途実績等について点検・評価を行い、公表する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	R1	一般会計	自治事務(その他)	子ども・子育て支援法ほか	○	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	242	95				
	決算	181					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	181	95				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		5,280	4,900				
人工	正規	0.6	0.7				
	再任用(h31)	0.3					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.2	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○	⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.2	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー	○ 5.1	⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	○ 16.2
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

浜松市子ども・若者支援プランの内容に、就学前教育、子ども・子育て支援、ひとり親支援、若者支援が含まれる点。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市民アンケート(子育て中の市民が「子育てがしやすくなっていると感じる」割合(%))					II-1(3)ウ	II-1(3)ウ	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	48	50	50	51	52	53	54
実績値	47.3	49.8	R2年12月頃				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・平成27年度に施行した浜松市子ども・若者支援プランの進捗管理や見直しを行った。
- ・令和2年度から施行する第2期浜松市子ども・若者支援プランを策定した。
- 【推進体制】
- ・浜松市子ども・若者支援推進会議、浜松市社会福祉審議会児童福祉専門分科会において子ども・若者支援プランの推進について協議するとともに、総合的な施策展開の検討・調整を行った。
- 【点検・評価】
- ・平成30年度の事業の実施状況や費用の使途実績等について点検・評価を行い、公表した。
- ・第2期浜松市子ども・若者支援プラン策定にあたり、第1期プランの総括(令和元年度分見込含む)を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・指標については目標をわずかに下回ったものの、前年度の47.3%から2.5ポイント上昇し49.8%となった。
- ・令和元年10月から実施された、医療費助成の高校生までの拡大や幼児教育・保育の無償化による、子育てに関する負担軽減への期待感から上昇したと推察する。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画の点検・評価や見直しは、国の指針等に基づき実施した。
- ・第2期浜松市子ども・若者プラン策定にあたり、第1期プランの検証と見直し結果及び、その後の社会環境やニーズの変化を考慮しつつ、新たな課題への対策に加え、各機関の連携を強化する計画とした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・第2期浜松市子ども・若者支援プランに基づき、各施策を着実に遂行するため、今後も国の指針等に基づき、点検・評価や必要な見直しを実施していく。

政策シート

(政策名) 若者の自立を促す環境づくりの推進

(予算費目名) 青少年活動費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑩平和								
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	86,005	92,225				
決算	83,989					
人件費(A)	53,480	60,480				
報酬(B)	111	777				
年間経費(予算又は決算+A+B)	137,580	153,482				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
青少年の家利用人数(人)	人	目標	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
		実績	45,141					
若者相談支援窓口「わかば」新規相談の内、専門機関へつなげたり、傾聴・助言等により一定の解決に至った割合(%)	割合	目標	85	86	87	88	89	90
		実績	84					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・「わかば」の相談件数は目標に達していない。青少年の家利用人数も、目標に達していないが対前年比では増となっており、今後、さらに増となるよう取り組みを進める。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	いじめ問題対策連絡協議会事業					4,358	81	0.5			777	
2	青少年団体等活動助成事業(補助金)					5,980	5,000	0.1			0.1	
3	青少年の家管理運営事業					45,848	44,448	0.2				
4	天竜自然体験センター運営・整備事業					13,028	12,328	0.1				
5	青少年育成センター事業					28,988	5,188	2.6			2.0	
6	青少年健全育成事業			○		27,263	15,363	1.7				
7	青少年支援体験活動事業			○		5,350	1,850	0.5				
8	子ども・若者サポート事業	○	○			22,667	7,967	1.7			1.0	
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						153,482	92,225	7.4			3.1	777

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) いじめ問題対策連絡協議会事業

◇事業目的・事業対象

いじめ防止のための調査研究や情報交換を行う。

◇事業の概要

いじめ防止等に関する機関及び諸団体の連携を図り、いじめ防止等に必要な事項等の意見聴取をする浜松市いじめ問題対策連絡協議会を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26	—	一般会計	自治事務(その他)	いじめ防止対策推進法	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	79	81				
	決算	58					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	58	81				
人件費(報酬等) (千円)		111	777				
人件費 (千円)		1,400	3,500				
人工	正規	0.2	0.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	○ 16.2
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

16.2「子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。」を達成するために、必要な研究や情報交換を実施している。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
浜松市いじめ問題対策連絡協議会の委員数					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	11	11	11	11	11	11	11
実績値	11	11					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

いじめ防止等に関する機関及び諸団体の連携を図り、いじめ防止等に必要な事項等の意見聴取をする浜松市いじめ問題対策連絡協議会を開催した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

【課題】

- ・ 継続的、定期的な協議会の開催
- ・ 議題、協議テーマの選定

【対応】

- ・ 関係機関、関係団体と連携を密にし、議題、テーマの候補を幅広く検討する

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・学校、教育委員会、法務局、警察、民生委員や学識経験者等から構成される協議会において、いじめの防止等に関する意見交換や連携が図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・先進都市の状況等を参考に会議をより充実していく。

事業シート (事業名) 青少年団体等活動助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

地域社会において、青少年の健全育成や豊かな人間形成に努める青少年団体等の活動を支援する。

◇事業の概要

以下のような事業を通して、青少年の健全育成や豊かな人間形成を図る団体等に補助金を交付して活動を支援する。

- ①各種スポーツ・レクリエーション大会に関する事業
- ②各種スポーツ教室の開催に関する事業
- ③講演会、研修会等の開催に関する事業
- ④季節行事、文化、芸術活動に関する事業
- ⑤農業体験等に関する事業
- ⑥野外活動に関する事業
- ⑦会員数の増加に関する事業
- ⑧青少年リーダーや青少年指導者の養成に関する事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	5,000	5,000				
	決算	5,000					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	5,000	5,000				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		980	980				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.7	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

文化や運動、様々な活動を通じて、全ての学習者が持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得することに近づくため。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
ボーイ・ガールスカウト加入者数(人)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	860	860	860	860	860	860	860
実績値	728	738					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
子ども会連合会への加入者数(人)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	27,600	27,600	27,600	27,600	27,600	27,600	27,600
実績値	24,278	23,534					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

以下のような事業を通して、青少年の健全育成や豊かな人間形成を図る団体等に補助金を交付して活動を支援した。

- ①各種スポーツ・レクリエーション大会に関する事業
- ②各種スポーツ教室の開催に関する事業
- ③講演会、研修会等の開催に関する事業
- ④季節行事、文化、芸術活動に関する事業
- ⑤農業体験等に関する事業
- ⑥野外活動に関する事業
- ⑦会員数の増加に関する事業
- ⑧青少年リーダーや青少年指導者の養成に関する事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

青少年の健全育成を実現するために大切な、家庭教育、学校教育と並ぶ社会教育の場として、その活動を重要視している。少子化の進行や子どもの余暇の過ごし方の多様化に伴い、加入者数の減少が課題となっている。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

青少年の健全育成を実現するために大切な、家庭教育、学校教育と並ぶ社会教育の場として、その活動を重要視している。少子化の進行や子どもの余暇の過ごし方の多様化に伴い、加入者数の減少が課題となっている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

次代を担う青少年の健全育成は非常に重要なことであり、今後も活動への支援を継続していく。

事業シート (事業名) 青少年の家管理運営事業

◇事業目的・事業対象

創造的な体験や交流活動の場を提供し、次代の社会を担う青少年の健全な育成を図る。

◇事業の概要

【青少年の家が行う主催事業】

- ① 自然体験活動を通じた育成事業(身近な自然を活用した実際体験による育成)
- ② 社会体験活動を通じた育成事業(ボランティア団体・企業等と連携した社会体験による育成)
- ③ 文化・創造体験活動を通じた育成事業
- ④ リーダー養成講座(青少年時におけるリーダー資質の養成)
- ⑤ 指導者養成事業(次世代の健全育成活動を行っている指導者を対象にした養成)
- ⑥ 手と心をつなぐ支援事業(障がい児者等を対象にした支援事業)
- ⑦ 文化祭事業(青少年の家まつり等)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S47	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立青少年の家条例・施行規則	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	45,577	44,448				
	決算	45,097					
	国・県支出						
	市債						
	その他	656	1,000				
一般財源		44,441	43,448				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		1,400	1,400				
人工	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

文化や運動、様々な活動を通じて、全ての学習者が持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得することに近づくため。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
青少年の家利用人数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	49,450	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
実績値	46,796	45,141					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【青少年の家が行った主催事業】

- ① 自然体験活動を通じた育成事業(身近な自然を活用した実際体験による育成)
- ② 社会体験活動を通じた育成事業(ボランティア団体・企業等と連携した社会体験による育成)
- ③ 文化・創造体験活動を通じた育成事業
- ④ リーダー養成講座(青少年時におけるリーダー資質の養成)
- ⑤ 指導者養成事業(次世代の健全育成活動を行っている指導者を対象にした養成)
- ⑥ 手と心をつなぐ支援事業(障がい児等を対象にした支援事業)
- ⑦ 文化祭事業(青少年の家まつり等)

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・令和元年度からは浜松こども館と指定管理を一体化し、連携して事業を行うなどの新たな取組みが行われた。また、主催事業への申込方法にWEB予約システムを導入し、利用者の利便向上を図っている。
- ・令和2年2月から3月にかけて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主催事業を中止・縮小したことや、宿泊利用のキャンセル等によって利用者が減少した。
- ・日帰り利用が増加している一方で、宿泊利用は減少していることから、今後は宿泊利用者を獲得するための取組み等が必要である。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・令和2年度から新たな指定管理期間の始まりに合わせ、浜松こども館との一体的な管理運営を行うよう見直したことで、HPや広告等による一般告知が効率的・効果的になった。また、共同イベントを実施するなど、スケールメリットを生かした運営が可能となっている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・共同事業の開催など、浜松こども館との連携を更に強化することで、相互利用の促進を図り、管理運営上の相乗効果を高めていく。
・施設敷地内の森林部分にある急傾斜地の安全対策を実施し、利用者が安心して利用できるように努める。

事業シート (事業名) 天竜自然体験センター運営・整備事業

◇事業目的・事業対象

船明ダム湖と周辺の森林を活用し、児童及び生徒の宿泊訓練並びに各種団体等の研修を通して青少年の健全な育成及び生涯学習の推進を図る。

◇事業の概要

学校等が当施設を利用して行う、主な活動内容は下記のとおり

- ・学校の宿泊訓練
- ・自然体験活動
- ・ボート大会
- ・部活動の合宿
- ・会社及び各種団体等の研修

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H2	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立天竜自然体験センター条例・施行規則	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	11,222	12,328				
	決算	11,173					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
一般財源		11,173	12,328				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

文化や運動、様々な活動を通じて、全ての学習者が持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得することに近づくため。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
施設利用者数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	7,500
実績値	3,767	3,696					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

学校等が当施設を利用して行う、主な活動内容は下記のとおり

- ・学校の宿泊訓練
- ・自然体験活動
- ・ボート大会
- ・部活動の合宿
- ・会社及び各種団体等の研修

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・令和2年2月から3月にかけて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者が減少した。
- ・利用者数の目標には及ばなかったものの、船明ダム湖と周辺の森林の環境を活用し、児童・生徒の宿泊訓練や各種団体等の研修を通して青少年の健全な育成及び生涯学習の推進に寄与した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・周辺施設との一体管理により施設の効用を高め、利用者数の増を図るべく、次期指定管理者の選定を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・周辺施設との一体管理により施設の効用を高め、利用者数の増を図る。

事業シート (事業名) 青少年育成センター事業

◇事業目的・事業対象

青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係行政機関や団体、ボランティア等が相互に連携し、補導活動や声掛けおよび環境浄化活動を効果的に推進する。

◇事業の概要

【街頭補導活動・特別補導】

毎月の補導計画による定期的な巡回や夏季・冬季県内一斉補導および浜松まつりへの祭典補導を行う。

【店舗等との情報交換】

大規模店舗やコンビニエンスストアなどの保安担当者と連携し情報交換を行う。

【社会環境の浄化活動】

立ち入り調査員を委嘱し、図書自動販売機・有害物件等の監視活動を行う。

【補導研修】

育成指導員やPTAなどを対象に、青少年を取り巻くさまざまな問題を取り上げて研修会を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S36	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	6,626	5,188				
	決算	5,974					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	5,974	5,188				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		23,100	23,800				
人工	正規	2.5	2.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	○ 16.2
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

見回り等の活動によって、未成年に対する搾取・取引・暴力等を防止するため

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
声掛け人数(人)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2,800	2,800	2,750	2,700	2,650	2,600	2,500
実績値	1,425	1,306					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【街頭補導活動・特別補導】
 毎月の補導計画による定期的な巡回や夏季・冬季県内一斉補導および浜松まつりへの祭典補導を行った。
【店舗等との情報交換】
 大規模店舗やコンビニエンスストアなどの保安担当者と連携し情報交換を行った。
【社会環境の浄化活動】
 立ち入り調査員を委嘱し、図書自動販売機・有害物件等の監視活動を行った。
【補導研修】
 育成指導員やPTAなどを対象に、青少年を取り巻くさまざまな問題を取り上げて研修会を開催した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

・補導活動のコース指定については、ベテラン指導員と新任指導員の混成班編成により、新任指導員の声掛け意識の向上が見受けられた。
 ・活動に際して、年齢や指導員の体調の把握に努め、無理のないコースを指定し実施することができた。
 ・補導活動の際、声かけの対象となる児童・生徒が減少しているように見える。これは、非行の形態が変わり、インターネットやSNS上での不適切な行動へと変化しているためと推測している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・育成指導員の言葉使いや態度に対して、苦情もなく活動できた。
- ・社会環境の実態調査では、県内一斉少年補導で学校と協力して行った中学校区も数多くあり、地域での実態把握に努めることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・合同補導に取り組むブロックが増えたことから、今後はその内容の充実を図る必要がある。
- ・祭典補導は警察関係者と連携を図り、補導実施時間等を調整する。

事業シート (事業名) 青少年健全育成事業

◇事業目的・事業対象

青少年の健全育成を目指し、学校、家庭、地域など子どもを取り巻くあらゆる立場の人の連携をとり、地域社会の環境浄化と教育力の向上に努める。

◇事業の概要

【48地域(中学校区)青少年健全育成事業】

1. 地域の青少年が、地域の大人とふれあう活動の充実
2. あいさつ、声掛け(補導)活動の推進
3. 地域の青少年を取り巻く良好な環境づくり

【青少年健全育成会連絡協議会】

各地域の青少年健全育成会の代表による連絡協議会を組織し、情報交換、事例研修などを行う。

【青少年の表彰】

社会のために地道に努力している青少年、青少年団体の諸活動を賞賛・奨励する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H3	-	一般会計	事務区分(その他)		-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	14,974	15,363				
	決算	14,833					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	14,833	15,363				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		11,200	11,900				
人工	正規	1.6	1.7				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
「ひとりひとりにいい声掛けデー」への参加者数(人)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
実績値	8,066	7,299					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【48地域(中学校区)青少年健全育成事業】

1. 地域の青少年が、地域の大人とふれあう活動の充実
2. あいさつ、声掛け(補導)活動の推進
3. 地域の青少年を取り巻く良好な環境づくり

【青少年健全育成会連絡協議会】

各地域の青少年健全育成会の代表による連絡協議会を組織し、情報交換、事例研修などを行った。

【青少年の表彰】

社会のために地道に努力している青少年、青少年団体の諸活動を賞賛・奨励した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

【成果】

- ・理事会や総会等において育成会長等と情報交換を行うことにより、各育成会が抱えている課題を把握したりすることができた。
- ・「ひとりひとりにいい声掛けデー」の参加については、11年目の事業として市民に定着し浸透してきている。
- ・研修会では、現状課題に即した研修を行い、参加者からは好評を得た。

【課題】

- ・活動が固定化、通例化している地域もあり、新しい企画を取り入れる姿勢などに温度差がみられる。
- ・地域の人材が活動計画の作成段階から主体的に関わって事業を進める仕組みづくりを構築する必要がある。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 各育成会の活動に対し、育成会長や事務局担当者による自己評価を実施し、より良い活動とするための検討のきっかけができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 青少年健全育成事業が本市の実情に合った地域主体の活動となるよう、他都市の先進事例などを参考に仕組みづくりについて検討する。

・ 自己評価の結果を参考に、各育成会に活動のさらなる活性化を働きかける。

事業シート (事業名) 青少年支援体験活動事業

◇事業目的・事業対象

問題を抱える青少年の立ち直り支援のため、体験活動コーディネーターを配置し、地域企業・事業所、ボランティア団体等の協力を得て、職業体験活動やボランティア活動を実施する。

◇事業の概要

- 1 体験活動コーディネーターの配置
体験活動支援のため、活動希望者、保護者、学校関係者との相談活動をはじめ、受け入れ企業の発掘を実施。
- 2 関係機関との連携および広報活動の充実
民児協、保護司会、校長会、若者支援地域協議会構成機関などの会合に参加し、事業説明・協力要請をする。
- 3 青少年理解研修会の企画
現在の青少年が抱える問題等を理解し、支援を充実させるため、研修する場を設ける。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H21	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,855	1,850				
	決算	1,243					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,243	1,850				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	3,500				
人工	正規	0.2	0.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
支援体験活動相談件数(件)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	20	20	20	21	22	23	24
実績値	27	34					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 1 体験活動コーディネーターの配置
 体験活動支援のため、活動希望者、保護者、学校関係者との相談活動をはじめ、受け入れ企業の発掘を実施した。
- 2 関係機関との連携および広報活動の充実
 民児協、保護司会、校長会、若者支援地域協議会構成機関などの会合に参加し、事業説明・協力要請をする。また、私立中学校などへの事業説明を行った。
- 3 青少年理解研修会の企画
 現在の青少年が抱える問題等を理解し、支援を充実させるため、研修する場を設けた。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- ・校長会での事業説明とコーディネーターの学校訪問に加え、中学校生徒指導部会等で事業説明をするなどの幅広い告知により各学校に浸透し、相談件数は目標値を上回った。
- ・2人のコーディネーターが手分けをして効率よく調整をすすめるとともに、企業や事業所を積極的に訪問し新たな体験受入先を増やすことができたため、前年より大幅に体験者が増加した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 非行傾向や不登校ぎみな青少年の立ち直りのきっかけとなった。
- ・ コーディネーターが全中学校を訪問し、事業の周知に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 引き続き、中学校訪問により事業の周知に努めるとともに、高等学校や定時制学校にも事業をPRし、新規受入可能事業所の開拓を積極的に行う。

事業シート (事業名) 子ども・若者サポート事業

◇事業目的・事業対象

子ども・若者育成支援推進法に基づき、社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者を、庁内外の関係機関・団体が連携しながら総合的に支援する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.64】

- 1 若者支援地域協議会の開催
 - ・ 庁内外の関係機関を集め定期的に開催(代表者会議 年1回、実務者会議 年3回)
 - ・ 個別ケース検討会の実施
- 2 若者支援スーパーバイザー活用事業の実施
 - 若者支援スーパーバイザー等による、相談員や支援員の研修事業を開催する。
- 3 若者相談支援窓口「わかば」の開設
 - 社会生活を円滑に営む上で困難を有する概ね15歳から40歳未満までの若者とその家族の相談に応じ、困りごとを解消するための支援につなげる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	子ども・若者育成支援推進法	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	672	7,967				
	決算	611					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	611	7,967				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		13,300	14,700				
人工	正規	1.5	1.7				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.5,4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者が、平等に教育や職業訓練を受けることで、必要な知識・技能を習得できることにつながるため。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
若者相談支援窓口「わかば」新規相談の内、専門機関へつなげたり、傾聴・助言等により一定の解決に至った割合(%)					-		64
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	H27-H30平均⇒	85	86	87	88	89	90
実績値	91	84					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.64】

- 若者支援地域協議会の開催
庁内外の関係機関を集め定期的に開催(代表者会議 年2回、実務者会議 年4回)
- 若者支援研修会の実施
若者支援スーパーバイザーによる、相談員や支援員の研修会を開催した。
- 若者相談支援窓口「わかば」の開設
社会生活を円滑に営む上で困難を有する概ね15歳から40歳未満までの若者とその家族の相談に応じ、困りごとを解消するための支援につなげた。
- SNSを活用した相談事業を試行(内閣府事業)

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

【成果】

- 代表者会議、実務者会議で各機関が持っている情報を共有することができた。また、切れ目のない支援や連携について意見交換をすることができた。
- 研修会のアンケート結果から、今後の業務に生かせるという回答を得た。
- SNSによる相談受付では短期間に多くの相談が寄せられ、支援の幅を広げることにつながった。

【課題】

- 相談件数が多ければよいわけではないが、相談内容が複雑化することで1件当たりの相談に要する時間が長くなり、相対的に相談件数が伸び悩む傾向がある。
- 複数の悩みを抱えている方への適正な支援に向けて、支援機関同士の連携体制を強化する必要がある。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者を庁内外の関係機関、団体が連携し情報共有を行い支援した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 夏休み・冬休みの長期休暇期間に合わせて、SNSを活用した相談事業を実施(委託事業)する。

補助シート

(事業名) 子ども・若者サポート事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
64	<p>【対象者】「子どもの将来が不安」「働く自信がない」などの悩みをもつ15歳から39歳までの若者とその家族</p> <p>【実施】電話相談・面談相談</p> <p>【内容】相談者の悩みを明確にし、適切な支援機関へつなげる</p>	<p>【対象者】「子どもの将来が不安」「働く自信がない」などの悩みをもつ15歳から39歳までの若者とその家族</p> <p>【実施】電話相談・面談相談</p> <p>【内容】相談者の悩みを明確にし、適切な支援機関へつなげる</p>	<p>【対象者】「子どもの将来が不安」「働く自信がない」などの悩みをもつ15歳から39歳までの若者とその家族</p> <p>【実施】電話相談・面談相談</p> <p>【内容】相談者の悩みを明確にし、適切な支援機関へつなげる</p>	<p>【対象者】「子どもの将来が不安」「働く自信がない」などの悩みをもつ15歳から39歳までの若者とその家族</p> <p>【実施】電話相談・面談相談</p> <p>【内容】相談者の悩みを明確にし、適切な支援機関へつなげる</p>
〇〇				

政策シート

(政策名) 若者の自立を促す環境づくりの推進

(予算費目名) 私立学校教育振興費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

全ての若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	13,785	14,107				
決算	13,654					
人件費(A)	560	560				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	14,214	14,667				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
補助対象となる学校法人への補助執行率(%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

若者を社会全体で健全に育成し、社会生活を送るうえで困難を感じることなく自立できるための環境を整える。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

補助対象となる学校法人(10法人)のすべてに補助金を交付し、政策の目的を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	私立学校教育振興助成事業 (補助金)					14,667	14,107				0.2
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						14,667	14,107				0.2

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 私立学校教育振興助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

私立学校の教育振興を図る。

◇事業の概要

【私立学校教育振興事業費補助金】

市内から通学する生徒の教育環境の向上を図るため、市内の私立小学校・中学校・高等学校を設置する学校法人が行う教育施設の改善や教材・教具の充実等に充てる事業に要する費用の一部を補助する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S55	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市学校法人助成条例	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	13,785	14,107				
	決算	13,654					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	13,654	14,107				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		560	560				
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.2				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.1,4.2,4.3,4.7	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

私立小学校・中学校、高等学校を対象とした補助金の交付である点。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
補助対象となる学校法人への補助執行率(%)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【私立学校教育振興事業費補助金】
市内から通学する生徒の教育環境の向上を図るため、市内の私立中学校・高等学校を設置する学校法人が行う教育施設の改善や教材・教具の充実等に充てる事業に要する費用の一部を補助した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 補助対象となる学校法人のすべてからの交付申請に対して補助を行い、教育の質の向上が図られた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市内の私立中学校・高等学校を設置する学校法人の教育振興を図り、教育環境の向上を実現するために必要な予算を執行した。
- ・令和2年度に、市内初となる私立小学校が開校されることを踏まえ、小学生まで交付対象となるよう要綱改正した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・令和2年4月から私立小学校が開校することから、小学生も新たに交付対象とするとともに、引き続き、市内に私立学校を設置・運営する学校法人の教育振興を図り、教育環境の向上を実現するため、事業を継続する。